

■目次

● 今月のごとは	小池 秀章
● 表紙のごとは	大橋 功・1
「みかんいっぱいとれたよ」	真城 義磨・2
● 巻頭言	命の大切さを伝える
● わたしの保育物語	● いま、学ぶ、越える
● 責任と自覚を持つ	● 園児向けお話
● おててのおはなし	● 仏典童話
● 目のさげび	● ともに生きる生かされる 園長わたしの発言
● 桃太郎の幼稚園と呼ばれて	● 食育アラカルト・北から南から
● 大和田保育園「後編」	● 保育者の心に寄り添うカウンセリング
● 稼いでいない子への おごりに気づいた保育士	● 仏教讃歌
● はいお正月	● なぜ？なぜ？先生
「ごおん」ってどんなこと？	● 「まごとの保育」のすすめ 19
● 親の願い、仏さまの願い	● 教区だより
● 滋賀教区保育連盟 活動報告	● 第55回まごとの保育中央講座開催報告
● 保育のビタミン	● 「おめでとー」の多い人生に、 おめでとーございます
	佐々木哲生・34

「みかんいっぱいとれたよ」

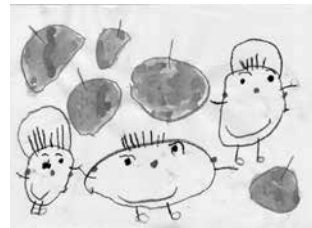
正岡 沙彩 (まさおか さあや) 4歳

西浦保育園
(山口教区)

●表紙のごとは●

みかん狩りの様子を思い出して描いているのでしよう、大きなみかんとともに、3人の人物が、楽しそうな笑顔で、表情豊かに描かれています。すでに経験したみかん狩りですが、描きながら今まさに楽しんでいるのです。また、しっかりとしたパスの線から、迷いのない気持ちと、沙彩さんの誠実さが伝わってきます。帽子をかぶっていたことや手にビニール袋を持っていたことなども思い出しながら描いています。

人物は、顔から直接手足が出ています。いわゆる「頭足人」と呼ばれるものです。3歳前後になると、人物を顔だけで表現するようになりませんが、決して顔だけを表現しているわけではありません。顔を描くことでその人物の全てを表現しているのです。しばらくすると、顔から手足が生えたように描くようになります。今は、体も含まれた「顔」ですが、こうして手足が描かれるようになるのは、やがて体を描き出す前兆でもあります。



おおはし いさお
大橋 功
岡山大学大学院
教育学研究科